

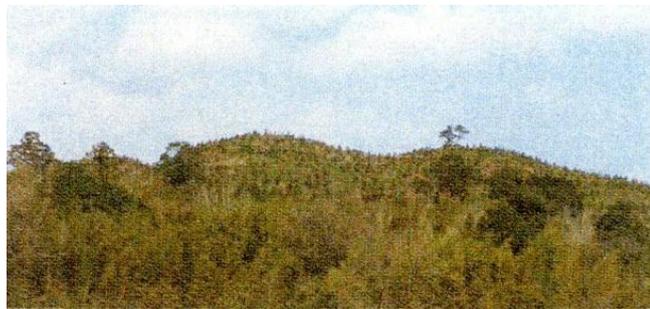
## さん さき との やま こ ふん 三崎殿山古墳

さんさきとのやまこふん なんぶちようみさき  
三崎殿山古墳は南部町三崎の  
どくりつさんりよう  
標高80mの独立山稜、殿山の  
ちようじよう りつち ぜんぽうこうえんふん  
頂上に立地する前方後円墳で、  
全長が108m、高さ8mの規模  
きほ  
を持つ西伯耆最大の古墳です。  
まいそうしせつ しゆつどいぶつ  
埋葬施設や出土遺物は不明で  
すが、形や規模から古墳時代中  
期初頭（4世紀末）の古墳と考  
えられています。

古墳の大きさから、まいそう  
埋葬された人は西伯耆一帯を支配した豪  
にしほうきいったい ころ  
た人は西伯耆一帯を支配した豪  
ぞく  
族であったと考えられます。



三崎殿山古墳遠望



三崎殿山古墳